

平成27年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【基本目標】人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

【具体的な生徒像】

- ・心身ともに健康で、気力あふれる生徒
- ・自ら学び、創造性に富む生徒
- ・勤労を尊び、責任感のある生徒
- ・思いやりがあり、心豊かな生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒相互が個性を認め合いながら、学習や行事、部活動などに目的意識をもって取り組む中で、すべての生徒が、自分のもつよさを自覚し、将来に希望をもって努力しようとする生徒を育成する。

そのために、教職員は自己に与えられた使命を自覚し、自己研鑽に励み、ひいては保護者や地域住民から信頼される学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができるように、公正で温かな学校づくりに努める。
- (2) 教職員としての使命と責任を自覚するとともに、常に自己研鑽に励み、専門職としての指導力の向上に努める。
- (3) 教職員は多様な生徒の存在を認識し、生徒と教職員の人間的な触れ合いを深め、人権感覚を磨きながら、生徒理解や指導方針に基づく生徒指導を推進する。
- (4) 教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (5) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (6) ○小学校や保護者・地域社会との連携を密にし、開かれた学校を目指し、特色ある学校づくりに努める。
- (7) ○9年間を通して生きる力を育む小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。

【瑞穂野地域学校園教育ビジョン】 9年間の連続した学びの中で「生きる力」を育てる小中一貫教育

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

○地区内小学校・家庭・地域との連携を図り、生徒の学びの質を向上させる学校づくりの推進

【学 習 指 導】

○学習意欲の向上と学習習慣の定着

○発表力、コミュニケーション力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

生徒理解のための職員研修の実施

いじめや不適応生徒への組織的対応

【健康（保健安全・食育）・体力】

健康教育、食育の推進と体力増強を目指した部活動の推進

交通安全意識の向上

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答90%以上	・行事等での生徒の活躍の場を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に即した指導計画を立て実践する。	B	【達成状況】 生徒の88.9%、保護者の85.4%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒会の各種委員会をさらに活性化させ、生徒が主体的に活動できるようにする。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答80%	・全職員が共通理解の下、些細な問題に対しても、迅速かつ誠実に対応するよう心がける。 ・個々の生徒の個性を見極め、それにあった指導を行う。	B	【達成状況】 生徒の94.0%、保護者の80.9%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 校内の研究授業はもとより、日常的に教師相互が授業を見せ合うなど授業力向上を図る。
	A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 ◎教師・生徒の肯定的評価80%以上	・基本的な生活習慣が身に付くよう生徒会の自律的な活動を促進させる。 ・「学習のきまり」を指導する。 ・交通安全教室でルールの大切さを認識させる。	B	【達成状況】 生徒の83.3%、保護者の84.5%、地域住民の100%、教職員の96.3%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 より充実した交通安全教室の実施や、継続した生活指導により、規範意識・安全意識の向上に努める。
	A4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的評価80%以上	・授業力向上を目指した校内授業研究会を開催する。 ・TTや習熟度別学習を効果的に活用する。 ・家庭学習やドリル学習などの指導を通じて、基礎学力を定着させる。	A	【達成状況】 生徒の85.3%、保護者の70.9%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 習熟度別やTTなどを効果的にを行い、一人一人に適切な課題の提示等、きめ細やかな指導を行う。
	A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ◎教職員の肯定的評価90%以上	・瑞穂野中学校いじめ防止基本方針を全教職員に周知、徹底させる。 ・各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、いじめの未然防止の取組の充実を図る。	B	【達成状況】 生徒の96.8%、保護者の66.9%、地域住民98.09%、教職員の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 「学校いじめ防止基本方針」をもとに、全校体制でいじめ撲滅、防止の指導体制をさらに強化させる。 学級目標や人権週間における「クラスの宣言等、学級・学年・学校の取組を諸便りで広く発信する。

		A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 ◎教職員の肯定的評価85%以上	・週案、週報、月報により教育課程実施状況を定期的に確認し、授業時数の確保に努める。	B	【達成状況】 生徒の88.9%、保護者の93.5%、地域住民の100%、教職員の96.6%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 日課、授業、各種行事を前年度の反省を生かして計画・立案・実施し、終了後は必ず総括し、次年度に備える。
		A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】◎保護者・地域住民の肯定的評価90%以上	・各種だより、学校ホームページ、メール配信システムなどを活用し、学校情報を積極的に発信する。 ・オープンスクールに多くの保護者や地域の方をお呼びして、授業を参観していただく。	B	【達成状況】 保護者の89.2%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 ホームページ等での積極的な発信に努める
		A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 ◎保護者・地域住民の肯定的評価85%以上	・魅力ある学校づくり協議会を活性化させる。 ・地域協議会や保護者との連携を深め、学校行事や学習などで外部ボランティアや外部講師の活用を推進する。	B	【達成状況】 生徒の83.7%、保護者の88.8%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 PTA、地域協議会、地域諸団体からの学校への意見や要望等を真摯に受け止め、より開かれた信頼される学校づくりに努める
		A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 ◎保護者・生徒の肯定的評価80%以上	・汚れた箇所をチェックし、集中的に清掃を行う。 ・教室や廊下の掲示物が古いままになっていないかなど、確認し改善を行う。 ・学習に集中できるよう教室内の掲示物を、工夫改善する。	B	【達成状況】 生徒の92.9%、保護者の91.4%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 生徒一人一人に自覚を促し、責任を持って分担場所をきれいにさせる。 掲示物の破れや汚れを見逃さず、常に整然とした状態を保つようにする。 花や植物を置き、潤いのある環境にする。
		A10 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 ◎保護者・生徒の肯定的評価80%以上	・生徒会によるあいさつ運動を推進し、あいさつに対する意識を高める。 ・ <u>学校園でのあいさつ運動を推進する。</u> ・時と場所に応じた適切なあいさつの仕方について、随時指導する。	B	【達成状況】 生徒の92.5%、保護者の83.4%、地域住民の100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 学校園の小学校や地域・保護者と連携し、あいさつ運動をより充実させる。 時、場所に応じた適切なあいさつを心がけるよう指導する。
教育活動の状況	生活	A11 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 ◎教職員・生徒の肯定的評価85%以上	・すべての授業で、正しい言葉づかいを指導する。 ・人権感覚を高める指導を、朝会や集会、学級指導等で行う。	B	【達成状況】 生徒の84.5%、保護者の84.7%、地域住民の100%、教職員の91.7%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 教職員自らが正しい言葉づかいをし、人権指導を継続して行う。また学校園の共通課題として、一貫した指導体制を確立し実践する。

	B1 学校はいじめのない明るく楽しい雰囲気づくり、人間関係づくりに努めている。 ◎保護者・生徒の肯定的評価 80%以上	・教科・領域等で体験学習を年間計画に位置付け、実践する。 ・生徒会が中心となって「いじめ撲滅キャンペーン」を展開する。	B 【達成状況】 生徒の 88.9%、保護者の 83.0%、地域住民の 90.0%、教職員の 96.6%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 「学校いじめ防止基本方針」を策定し、全校体制でいじめ撲滅、防止の指導体制を強化させる。 学級目標や人権週間における「クラスの宣言」にいじめ撲滅の視点をもち込んで作成できるようにする。
健康・体力	A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的評価 80%以上	・元気っ子健康体力チェックの結果をよく理解させ、自己の体力を増強させるため、積極的に昼休みに運動したり、部活動（運動）に参加したりするように指導する。	A 【達成状況】 生徒の 80.6%、保護者の 77.6%、地域住民の 63.6%、教職員の 72.4%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 体力の向上を生徒会活動の目標の一つに掲げ生徒が楽しみながら運動の習慣が身に付けられるようにする。
	A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的評価 80%以上	・給食だより、保健だよりの発行を通じて、食育に関心をもたせ、さらには栄養摂取の大切さを理解させる。 ・「お弁当の日」の指導を通じて食に対する意識をもたせる。	A 【達成状況】 生徒の 81.0%、保護者の 77.0%、地域住民の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 各教科・領域の年計に食育の視点を盛り込み連携を強化させることにより、全校体制で食育を推進する。
学習	A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ◎教師・生徒の肯定的評価 80%以上	・すべての教科・領域で発表力を高めるための授業を意図的・計画的に行う。 ・発表力を高めるための授業方法について、校内研修会や自主的な研修を通じて研究し、共通理解を図る。 ・授業中のルールを確立させる。	A 【達成状況】 生徒の 86.9%、保護者の 78.9%、地域住民の 90.0%、教職員の 67.9%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 すべての教科・領域で授業に言語活動を取り入れ、生徒の発言力、発表力、表現力の向上に努める。
	B3 生徒は自主学習ノートに前向きに取り組んでいる。 ◎教師・生徒の肯定的評価 80%以上	・毎日の提出状況を組織的にチェックし指導を加えることで、取組の習慣化を図る。 ・生徒会の学芸委員会を通して、優秀な取組を紹介・表彰することで生徒の意欲を高める。	B 【達成状況】 生徒の 82.9%、保護者の 77.2%、教職員の 92.9%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 家庭学習の習慣化を通して、基礎学力の習得に努めさせる。 努力している生徒への賞賛、意欲付け等指導を工夫するなど、生徒の自主的な学習を支援する。
	A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ◎教師・生徒の肯定的評価 80%以上	・チャイムと同時に授業が開始できる体制を確保する。	A 【達成状況】 生徒の 74.2%、保護者の 81.7%、地域住民の 100%、教職員の 92.9%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 授業のチャイム開始を教師がさらに自覚し、時間を大切にする姿勢を示す。
	B2 生徒は朝の読書にまじめに取り組んでいる。 ◎教師・生徒の肯定的評価 90%以上	・朝の学習の時間の十分な確保と、図書館教育と連携した読書環境づくりを進める。	B 【達成状況】 生徒の 92.1%、保護者の 84.7%、教職員の 100%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 今後も便り等で啓発に努め、生徒が主体的に読書に取り組めるよう環境づくりを進める。

本校の特色・課題等	B4教職員は、地域のよさを自覚し、郷土への親近感がもてる生徒を育成している。 →地域の行事への生徒の参加等を支援し、地域の方々とのかれあいを通して、そのよさを自覚し、郷土を愛する心情を育てている。 【数値指標】 ◎保護者・生徒・地域住民の肯定的評価80%以上	・総合的な学習の時間における地域の方々とのかれあいを通して、地域に積極的に目を向けさせる。 ・PTAや地域行事への生徒の積極的な参加を促し、瑞穂野のよさを再認識させる。	B	【達成状況】 生徒の90.9%、保護者の85.6%、地域住民の90.9%、教職員の89.7%が肯定的に回答している。 【次年度の方針】 今後も地域行事へ積極的に参加できる雰囲気継続させ、ボランティアの募集方法等もさらに工夫していく。
-----------	---	--	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・ほとんどの項目で設定した数値指標（肯定的回答80%～90%）は達成されており、教育目標に即して充実した学校教育が実践されたと考える。 ・昨年度と比較すると、生徒や地域住民の肯定的回答割合が大部分の項目で増えており、今年度の本校の取組が妥当であったと評価できる。 ・教職員については、異動してきた職員も多く、昨年度より肯定的な評価が少なく、現状に課題意識を持っていることがわかる。特に生徒の授業への取り組み方については、落ち着いて学習に取り組むことができるが、やや消極的な面があり発言が苦手な生徒が多いと感じている。積極的な話し合い活動や発表力、意欲的な授業態度等について、課題を共有し、次年度の計画に反映させたい。 ○教育課程及び保護者や地域等の連携、情報発信・提供、学習環境、いじめ対応などの学校全体の状況は、肯定的な回答が多かった。また生徒はあいさつがよくでき、言葉づかいも丁寧で、地域の方や保護者からの評価も高い。地域の活動に積極的に参加する生徒が多く、地域の方々とのかれあいを通して郷土を愛する心情が育っている。さらに小学校や地域との連携を図りながら進めていきたい。

6 学校関係者評価

・あいさつ運動は生徒も教職員もとても熱心にやっていた。今後も地域・保護者・学校が連携を深めるとともに、地域の各小学校と連携して瑞穂野の教育活動をさらに推進していくことが大切である。 ・いじめ対応については、教職員の肯定的回答が多いのに対して保護者の評価はまだそれほど高くはない。保護者のいじめ撲滅に向けての学校への期待は大きいので、教職員が一丸となって取り組んでほしい。 ・中学生が地域の様々な活動にボランティアとして積極的に参加しているので、地域の方も感謝している。今後もより一層関わりを深め、地域を大切にする生徒を育てるためにも、より多くの生徒が参加できるように募集の仕方などを検討してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校評価については、生徒・保護者・地域の方から貴重な意見をいただきました。この結果を受け、平成28年度の学校経営について、特に下記のこと重点的に取り組んでまいります。 ・生徒一人一人が希望進路実現のために、具体的な目標を持ち、積極的に毎日の授業に取り組み、学習習慣を身に付け、学力の向上が図れるよう努める。 ・生徒が主体的に活動し達成感が得られるよう、各種の学校行事や生徒会活動をさらに充実させ、体力増強と食育の推進
--

に努める。

- ・生徒一人一人のよさを認め、生徒が夢と希望を持って学校生活が送れるようにする。
 - ・ライントラブル等、ネットに関する事故やいじめの未然防止に向けて、生徒への継続した指導のみならず、保護者への啓発と協力を促す。
- 小中学校でより一層連携を深め、基礎的・基本的学習内容の定着と学習習慣の習得をより確実にする。
- ・地域と積極的に関わり、地域を大切にする生徒の育成をさらに推し進める。